

<b>科目名</b>	<b>基礎情報処理</b>	科目コード 51170
------------	---------------	----------------

<b>学科名・学年</b>	<b>環境都市工学科 1年</b>	<b>担当教官</b>	<b>衛藤 俊彦</b>		
<b>単位数</b>	<b>2単位・必履修</b>	<b>開講期間</b>	<b>通年</b>	<b>時間数</b>	<b>60時間</b>
				<b>内訳<sup>(時間)</sup></b>	講義(56), 演習(0) 実験(0), その他(4)
<b>教科書</b>	ネットワーク社会における情報の活用と技術 (実教出版) 情報処理の基礎 - エンジニアの卵たちへ - (長岡高専情報処理 共通化 WG)				
<b>補助教材</b>	配布プリント				
<b>参考書</b>					

<b>A 科目の概要</b>	
情報化社会と呼ばれる今日、情報や情報機器を正しく使えることは、技術者として必須事項である。本科目では、本校のコンピュータ及び情報ネットワークの利用を通じて、コンピュータによる情報の収集・活用・管理の基礎について学習する。	
<b>B 到達目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の情報ネットワークの利用方法を習得する (ブラウザソフト・電子メールの送受信等)</li> <li>・情報を操作する上での注意事項について理解し、実践出来るようにする</li> <li>・文書作成ソフト、表計算ソフトを利用した報告書の作成・データ処理方法を習得する</li> <li>・コンピュータを利用したプレゼンテーション方法を習得する</li> <li>・ユーザ、技術者社会の一員の3視点で情報や情報機器を正しく扱う基礎を習得する</li> <li>・コンピュータについて、座学と実習により理解する</li> <li>・情報通信ネットワークの概略を理解する</li> </ul>	
<b>C 長岡高専の学習・教育目標との対応</b>	
<b>D 履修上の注意</b>	
皆さんが技術者として成長する将来において、コンピュータは必須の道具となります。コンピュータに使われないように、苦手意識を持たず積極的に実習に取り組んで下さい。本科目の受講を通じて、常に自問自答しながら、論理的な思考で問題を解決する姿勢を習得して頂きたい。また、情報ネットワークを利用する際には、実社会以上にマナーの遵守が求められます。コンピュータを道具として使いこなす事だけではなく、情報ネットワークにおけるマナーやエチケットを十分理解し、それを実践出来るようにして頂きたい。	
<b>E 評価方法</b>	
演習中心の科目のため、課題を重視する。数週に1度ずつ出す課題を提出してもらい(70%)、中間試験は行わず、期末テストのみを行う(20%)。また、授業に取り組む態度も評価に加味する(10%)	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	授業の導入とパソコンの仕組み	
2	情報処理とインターネットの基礎	
3	端末室のコンピュータの基本設定	
4	アプリケーションの利用とタッチタイプ	
5	日本語入力とメールの使用	
6	ワープロソフトの使用(1)	
7	ワープロソフトの使用(2)	
8	ファイルの操作と表計算ソフトの使用(1)	
9	表計算ソフトの使用(2)	
10	表計算ソフトの使用(3)およびプレゼンテーションソフトの使用(1)	
11	プレゼンテーションソフトの使用(2)とウェブページ閲覧	
12	インターネットによる土木・環境都市工学の学習	
13	情報と社会生活(1)	
14	期末試験	
15	試験返却・試験解説	
16	プログラミングの基礎(フローチャート)	
17	第17週 プログラミングの基礎(BASIC) 1	
18	第18週 プログラミングの基礎(BASIC) 2	
19	プログラミングの基礎(BASIC) 3	
20	UNIX の利用1	
21	UNIX の利用2	
22	UNIX の利用3	
23	プログラミングの基礎(FORTRAN,C) 1	
24	プログラミングの基礎(FORTRAN,C) 2	
25	ネットワークの利用(情報収集)	
26	ネットワークの利用(モラル)	
27	ネットワークの利用(Web作成) 1	
28	ネットワークの利用(Web作成) 2	
29	期末試験	
30	試験返却・試験解説	